

鳥羽市全員協議会会議録

平成29年9月5日

○出席議員（13名）

1番	奥村 敦	2番	片岡直博
3番	河村 孝	4番	山本哲也
5番	木下 順一	6番	井村行夫
7番	中世古 泉	8番	戸上 健
9番	浜口 一利	10番	坂倉 広子
11番	世古安秀	13番	尾崎 幹
14番	坂倉紀男		

○欠席議員（1名）

12番 橋本 真一郎

○出席説明者

- ・中村市長、立花副市長
- ・小竹教育長
- ・寺田総務課長
- ・山下企画財政課長、山本副参事
- ・世古教委総務課長

○職務のために出席した事務局職員

事務局次長	濱口博也	兼庶務係長	上村 純
書記	中山真緒	兼議事係長	

(午前11時20分 再開)

○浜口一利議長 本会議に引き続き、ご苦労さまでございます。

ただいまから全員協議会を再開いたします。

なお、橋本議員は体調不良のため欠席の旨、報告を受けておりますので、よろしくお願いをいたします。

本日の案件につきましては、お手元に配付してあります事項書のとおりでございます。

それでは、議事に入ります。

協議事項1、執行部からの報告事項についてであります。

そのうち、①人事案件につきましては、鳥羽市議会の運営に関する基準により、人事案件は秘密会としてインターネット配信を行いませんので、ご了承願います。事務局は配信を停止してください。

(地方自治法第115条による会議録非公開部分)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件は終了いたします。

説明員入れかえますので、暫時休憩いたします。

(説明員交代)

○浜口一利議長 続きまして、②ご当地ナンバーの導入についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

山本副参事。

○山本副参事 ご当地ナンバー及び地方版図柄入りナンバープレートの導入に向けた取組みについてということで、8月にもまず第一弾として資料提供をさせていただいて、今回も全員協議会の資料として資料提供させていただいております。

内容的には、ほとんど変わっておりませんので、説明を進めていきたいと思っております。

まず第1に、背景としましては、伊勢志摩サミットを契機に、「伊勢志摩」の名を継続的に情報発信し、地域振興・観光振興に役立てることを目的として、ご当地ナンバーの導入に向けた取り組みを県及び周辺市町とともに進めているところでございます。

次に2番目なんですが、ご当地ナンバーにつきましては、今までにも何度か話題になったことがあると思っておりますので、皆さんもご存じやと思っております。

まず、鈴鹿・亀山で鈴鹿ナンバーというのが三重県のご当地ナンバーとして今動いております。それが平成18年10月ということで、鈴鹿ナンバーが入っております。

その後、25年2月にもう一度ご当地ナンバーの公募ありましたけれども、三重県のほうの陸運局を入れた自動車のワンストップサービスという部分のオンラインのシステムですね、そういうところがまだまだできないということで、平成25年にはそこは見送られた経緯があります。

それで今回、28年4月、伊勢志摩サミットの後、志摩市長の音頭のもと、三重県と鳥羽市、志摩市、伊勢市と国のほうへ要望しに行って、29年、この5月に図柄入りを条件としたご当地ナンバーの導入がまた発表されたところです。その条件の中に、今までは10万台というような縛りがありましたけれども、5万台というようにハードルが下がったことと、あと観光地や世界遺産のあるような地域は特別に5万台でいいというようなところにもなっておりますので、今回、これを機に手を挙げていきたいということで、今、取り組んでおるところです。

ここの3番の調整案のところなんですけれども、対象地域が、現在のところ、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町、大台町の3市6町で検討しているところです。

多気町も、以前、8月の資料には多気町も入っておったんですけれども、議会説明の中で多気町は伊勢志摩じゃないやろうというような意見もあって、多気町は手をおろしたというような事情です。

あと、ほかの市町についても、またそういう事情が出てきて手をおろしていくところも出てくるかと思しますので、伊勢市、鳥羽市、志摩市につきましては、積極的に推進していくということで、今、活動を始めています。

それと、4番の導入のところ、先ほど説明させていただいたんですけれども、図柄入りのナンバープレート、今までは、ご当地ナンバーということで、三重ナンバーが伊勢志摩という形、三重ナンバーが鈴鹿というような形でよかったんですけれども、今回から図柄入りのナンバープレートを入れるということが前提になっていきますので、3パターンできるような形になります。

それと、一番最後の(7)のワンストップのところですが、このサービスについては、車検やそういうところの検査登録、保管場所の登録——車庫証明ですね、あと自動車税等の納税、そういう主なこういうものがネット上でできるようなシステムを入れるということで、これが条件になっています。

三重県のほうへは、今まで予算がかかるということでなかなか踏み切れなかったところを、3市の市長行っようお願いをして、今、進めているところです。

次の今後の流れというところなんです、まず29年8月に市議会への説明ということで、この前、8月18日付で議会へ報告をさせていただいて、皆さんに資料を送らせていただいたところです。

それと、次の9月から10月にかけて、アンケートということで、住民の意向調査をするということで、総合計画の意識調査ありますので、そこへこの伊勢志摩ナンバーのアンケートを追加しまして、今、発送してアンケートを始めたところです。

それと、県から国へちゃんと申請が行って、その後、導入地域の決定があって、図柄を選ぶというような工程になります。

平成32年度中が新ナンバープレートの交付開始という形ですが、一遍にごそつと変わるんじゃないに、新車登録とか改めて変更するときに順次変わっていくような流れになりますので、よろしくお願いします。

それで次に、ナンバープレートの例を少し挙げさせてもらっています。

三重ナンバーが伊勢志摩ナンバーになるという、今の白黒の字だけのものと、もう二つ、図柄入りができて、白黒のものとカラーのものができます。白黒のものについては、少し手数料がかかります。それで、フルカラーのものになると、そこへサービス改善のお金と観光振興のお金、寄附金というような形でそのお金が乗りま

すので、6,000円、7,000円というような寄附金も含めた手数料が要ってくることになります。また、その手数料、寄附金につきましては、そういうところを検討する地域の協議会をつくって、用途については決めていくというような流れになります。

最後に、アンケートなんですけれども、最後につけさせていただいた「伊勢志摩ナンバー」に関するアンケートということで、三つほど問いを挙げています。

「『三重』ナンバーが『伊勢志摩』ナンバーに変わるとすると、あなたはどう思いますか。下記のうちからお選び下さい」ということで、ここへちょっと※マークでプラスをさせていただきました。これ、鳥羽だけなんですけれども、ナンバーの文字数が4文字までということが決められていますので、よく伊勢、鳥羽、志摩の話も出てきますけれども、伊勢志摩という形で、サミットの後の発信ということでやっていきたいと思っています。

2番目に、ナンバープレートを選択できるようになったら図柄入りを選択するかというようなところと、3番目には、伊勢志摩をイメージする図柄はどんなのがイメージするかというところを参考に聞かせていただいております。

このアンケートにつきまして、先ほど申し上げましたように、総合計画のアンケートと一緒に、無作為で2,000の住民に送らせてもらっております。あと、今月中ぐらいには大体の結果が出てくると思いますし、あと観光協会や商工会議所、旅館組合等の民間の盛り上げについても、行政の活動とあわせて並行してやっていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

説明としては以上です。

○浜口一利議長 ありがとうございます。

説明は終わりました。

それでは、この件につきまして、ご質問、ご意見があれば伺いたいと思いますけれども、どうでしょうか。よろしいですか。

尾崎議員。

○尾崎 幹議員 メリットは何なんですか。

○浜口一利議長 山本副参事。

○山本副参事 ご当地ナンバーが、今、皆さんがよそへ行くときに、伊勢志摩という看板をしょって旅行とかいろいろなところに行ってもらいますので、そういうことを目にして、観光振興や地域振興のそういうPRに十分なるかなと思っております。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 先ほど言われたように、伊勢志摩サミットでという話やったんやけれども、伊勢志摩サミットでは鳥羽は取り残されたわけやでさ、これでまたナンバーで取り残されるようなことがあってはどうかと。

これ、やっぱり三重県と選べるわけですよ。

(「選べるというのは、伊勢志摩ナンバーの」の声あり)

○尾崎 幹議員 伊勢志摩ナンバー違うても、三重のナンバーで。

○浜口一利議長 山本副参事。

○山本副参事 伊勢志摩ナンバーが決まりますと、この地域に住む人は、もうそれしか選べなくなります。

○浜口一利議長 はい。

○尾崎 幹議員 一番最初、湘南ね、湘南ナンバーがつけられるいうんで移住・定住が一気に行われたんかな、それ新聞に載って、皆さん知っておると思いますけれども、そういうような狙いはあるんですか。

○浜口一利議長 副参事。

○山本副参事 湘南ほどメジャーかどうかはわかりませんが、伊勢志摩のいいイメージも発信していくものと考えています。

○尾崎 幹議員 それに、これもしくはナンバーするんやったら6,000円要るわけ、プラス。

○浜口一利議長 副参事。

○山本副参事 図柄入りなので、そのカラーで。

○尾崎 幹議員 図柄入り。

○山本副参事 図柄入り。その、単純に三重ナンバーが伊勢志摩と変わるだけだと、今までの手数料と変わらずということで、図柄入りでもモノトーンの白黒とフルカラーのものがあと2種類できて、その図柄入りになると2,000円とか3,000円、それでカラーにすると六、七千円、8,000円とか、つくる枚数によってそこが違ってきますけれども、寄附金がそこへプラスされますので、高くなります。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 図柄入りは、これ今見ておる限りさ、いろいろな、真珠とかあったけれども、鳥羽でイメージできるいうたら、もう真珠ぐらいしかない。そういうやっぱり選考は今からでしょう。

○浜口一利議長 副参事。

○山本副参事 図柄の選考は今から……

○尾崎 幹議員 これは、やっぱり鳥羽も参加する限りはさ、この中に何かのイメージが残るような流れがやっぱり必要やと思うよって、図柄入りの中はもうちょっと幅広いものに変えていくほうがええんちゃうんかなと思うけれども。

以上。

○浜口一利議長 一生懸命アンケートで答えてください。

ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件については終了いたします。

これをもちまして全員協議会を散会いたします。

(午前11時38分 散会)

議長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成29年9月5日

鳥羽市議会議長 浜 口 一 利